

CASBEE® 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.6)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	医療法人 社団 鳥巢病院増築工事	階数	地上4F
建設地	福岡県北九州市門司区大字吉志5	構造	RC造
用途地域	都市計画区域内(市街化調整区域)	平均居住人員	60人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年3月 予定	評価の実施日	2014年5月19日
敷地面積	10,207 m ²	作成者	竹野 凌
建築面積	1,513 m ²	確認日	2014年5月22日
延床面積	4,344 m ²	確認者	定森 淳一



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
 ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Qのスコア = 3.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 4.4

LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合	室内環境だけでなく、外構の緑化・排熱部の設置の配慮、光害への配慮等を行い室外環境・敷地外環境にも配慮した設計となっている。	その他 0
Q1 室内環境	十分な昼光率を確保、ブラインド・庇による制御を行うなど、光・視環境に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) 建物周辺の緑化、屋上を緑化、排熱部を屋上に設置するなど室外環境に配慮している
LR1 エネルギー	高効率機器を採用し、建築物の環境負荷低減に配慮している	LR3 敷地外環境 周辺に駐車場を設置し、交通渋滞の抑制に配慮している。光害の抑制に配慮している。
Q2 サービス性能	耐用年数の高い内装材を使用するなど、更新性に配慮している。	
LR2 資源・マテリアル	内装材にリサイクル材を使用、有害物質を含まない建材を使用するなど、汚染物質の使用、非再生資源の使用量削減に配慮している	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される